

あいづわかまつ 広報議会

令和4年(2022)
8月1日 No.209

あなたの市政を、あなた自身でたしかめましょう



ねがいごと かなうといいな

第25回市民との意見交換会
地域のまちづくりなど活発な議論……P 2

6月定例会 第559回会津若松市議会

令和4年度一般会計補正予算など可決…	P 4
審議結果、賛否一覧……………	P 8
討論、意見書……………	P 9
一般質問……………	P10

定例会以外の議会活動

令和3年度政務活動費の収支状況……………	P17
デジタル田園都市国家構想推進交付金事業 に関する補正予算を可決(7月臨時会)…	P21

認定こども園 榎の木
七夕の会



7月7日、七夕の会が行われました。年長組の短冊には、「さかあがりができるように」「とびばこがとべるように」といった思い思いの目標が書かれていました。みんなの目標がかなうといいですね。

第25回市民との意見交換会

地域のまちづくりなど活発な議論

第25回市民との意見交換会を、令和4年5月8日から15日まで市内15会場で開催しました。前回同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながらの開催となりましたが、参加された市民の皆さまから、まちづくりについての課題や提言など多くの貴重な意見をいただき、有意義な意見交換ができました。

住民と地域の課題を共有

各地区から様々な課題が寄せられました

参加人数が制限された中での開催となりましたが、各会場からは、市政や議会について様々なご意見を伺うことができました。特に、鳥獣被害対策、少子化による学校統合、冬季の通学支援など地区特

有の課題も寄せられました（左表参照）。議会では、「市民との意見交換会総括会議」を開催し議会内での情報共有を図っています。

なお、今回の開催結果については、地区別の報告書を市議会のホームページ、意見交換会が開催された各会場などでご覧いただけます。

市民意見を議会活動に

議会として市民の質問、疑問に答えます

市の取組に関する質問に対しては、議会としてできる限り説明しています。その場でお答えできない場合でも、後日調査し報告する事後処理報告（3ページ中段参照）という形で取りまとめ公表いたします。

市政をチェックする際の参考とします

今回いただいた意見等は、広報広聴委員会

で市の政策分野別に整理し、所管の各委員会に送付され、議案審査などに活用させていただきます。

議会の政策づくりに生かします

議会では、各分科会に分かれて、市民意見を起点として政策課題を設定し、調査研究を行い、政策立案、政策提言につなげる取組を行っています。今回の意見交換会でも、今後の議会の政策づくりに生かしてまいります。



活発な意見交換が行われました（東山地区）

住民とともに歩む議会を目指しています

意見交換後、お願い

した参加者アンケートでは、多くの会場から有意義な意見交換会であったとのご意見をいただきました。



報告書はこちらから
ご覧になれます

第25回市民との意見交換会地区別開催状況

開催日	地区名	参加人数	意見交換された主な内容
5月8日	謹教	8人	ごみ対策、歩道除雪、町内会役員等のなり手不足などの課題。
5月9日	一箕	9人	除排雪の課題（雪溜め場、雪捨て場）。飯盛1号公園の維持管理。
	門田	5人	鳥獣被害対策。コロナ禍における地域活動の在り方（子供会、夏祭り等）。
5月10日	湊	11人	小中学校の学区や通学、農業支援、鳥獣被害対策などの課題。
	神指	4人	空家対策、ごみ分別などの課題。
	東山	10人	地域づくり活動の担い手の問題（人材育成）。公園・緑地の維持管理。
5月11日	町北・高野	4人	市道幹1-6号線など駅西整備や今後の駅前整備の課題。
	大戸	13人	鳥獣被害対策。魅力ある学校づくり。特色ある地域づくりの取組。
	河東	7人	農業支援（米価下落）。市営住宅の空家問題。保育所と幼稚園の統合の進捗状況。
5月12日	城北	4人	除雪対応。防災対策備品の配備。
	日新	4人	猫への餌まき。通学路の安全対策。民生委員の任命等。災害時の対応。
5月13日	城西	12人	今年の除雪対応に対する課題。デジタル社会への危惧。観光施策。
5月14日	鶴城	14人	旧県立病院跡地の利活用。公共施設老朽化への対応。自転車専用道の安全確保。
	北会津	4人	道路や河川の整備。冬季間の通学支援の在り方。コロナ関連情報提供の在り方。
5月15日	行仁	6人	行仁小学校整備に伴う課題（北側歩道氷結、こどもクラブ駐車場出入口の渋滞）。

事後処理報告事例

飯盛1号公園は芝生のためブランコの下が削れてくぼんでおり、どう対応したらよいか教えてほしい。（一箕地区会場）



現地を確認するとともに、担当課より、地区と協議し改修していくとの回答を得ました。



行仁小学校の建てかえにより、北側歩道が今年の冬、凍って危険であった。どこに連絡すればよいのか。（行仁地区会場）



現状の環境変化を確認するとともに、担当課より、登下校前の除雪を検討したいとの回答を得ました。



一方、意見交換会については、もっと参加できる人数を増やしてほしい、意見交換の時間が足りない、といったご意見もありました。アンケートを通して議会への期待も感じたとこであり、これからも十分な意見交換ができるよう、更によりよ

い運営等を工夫しながら意見交換会を開催し、市民の皆さまの期待に応え続けられる議会を目指してまいります。今回の市民との意見交換会は、11月の開催を予定しておりますので、ぜひ皆さまのご意見をお寄せください。

会場アンケートの一部を紹介します

幅広い意見が聞けて良かった。時間が短く残念。（城西地区会場）

選挙の時だけ大戸に来るのではなく、常に目を向けて要望等を聞くようにしてほしい。（大戸地区会場）

本日出た意見を議会に反映してください。（湊地区会場）

参加者の声

前回の意見交換会の報告もあるので、とても誠実だと受け止めました。（東山地区会場）

今回初めて参加した。わかりやすく説明してもらい良かった。次回も参加したい。（町北・高野地区会場）

ご参加ありがとうございました

皆さまから、ご忌憚のないご意見を頂戴し、有意義な意見交換ができましたこと、御礼申し上げます。いただいたご意見を市政に反映すべく努めてまいります。今後とも、ご理解と協力をお願いいたします。



議長 清川 雅史

令和4年度一般会計補正予算などを可決 ～商業地域活性化事業費などを議論～

6月定例会のあらまし

6月定例会は、6月9日から24日までの16日間の会期で開かれました。

今定例会では、令和4年度一般会計補正予算や条例改正の議案等が提出されました。これらについては、本会議での総括質疑後、予算に係る議案は予算決算委員会へ、また、条例改正等の議案や請願、陳情は総務、文教厚生、産業経済、建設の各委員会に付託され、審査が行われました。

今定例会に提出された議案等とその審議結果は8ページのとおりです。

なお、市政全般にわたる市の考えを問う一般質問では、17名の議員が質問を行いました。

議案等に対する質疑と審査

議案第41号
令和4年度
一般会計
補正予算
(第3号)

スマートシティ会津若松推進事業費

【事業目的・概要】

令和4年12月に本市等で開催される第4回日ASEANスマートシティ・ネットワークハイレベル会合の開催に要する経費、及び市外企業と地元企業等との連携による地域課題解決に向けた先端サービスの実装化事業を支援するための経費を予算措置するものです。

【主な事業費の内訳】

日ASEANスマートシティ国際会議地域情報発信等事業委託料 1497万9千円
地域課題解決型先端サービス実装化支援事業補助金 2千万円

発信するスマートシティの具体例は

問 ASEANスマートシティ・ネットワークハイレベル会合において発信する本市スマートシティの取組の具体例について伺う。

答 会津若松+という都市OSと連携した市

民サービス、例えば「LINE deチャット問い合わせサービス」や除雪車ナビなどを提供している点について紹介していくとともに、こうした仕組みを地元の企業とスマ

6月定例会日程

6月9日(木)
招集日
本会議(提案理由説明)
13日(月)、14日(火)、15日(水)
本会議(一般質問)
16日(木)
本会議(総括質疑)
予算決算委員会
17日(金)
文教厚生委員会・建設委員会
予算決算委員会第2・第4分科会
20日(月)
総務委員会・産業経済委員会
予算決算委員会第1・第3分科会
22日(水)
予算決算委員会
24日(金)
最終本会議(委員会審査報告～表決)

総括質疑を行った議員名と項目

① 原田 俊広 議員

・企業版ふるさと寄附金基金繰入金ほか(令和4年度一般会計補正予算)

② 斎藤 基雄 議員

・会津若松市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一

課税に関する条例の一部を改正する条例

③ 譲矢 隆 議員

・監査の結果報告について

追加提案された議案に対する質疑

① 斎藤 基雄 議員

・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業費(令和4年度一般会計補正予算)

② 譲矢 隆 議員

・市産米粉消費拡大緊急対策事業費(令和4年度一般会計補正予算)

ートシティA i c tの
入居企業が連携して構
築し、運用している点
を紹介していきます。
国際会議をとおして、
市民や企業にもスマー

トシティの取組を知っ
ていただく機会となる
よう、分かりやすく丁寧に情報を発信して
いきます。

事業補助金の効果の検証は

問 地域課題解決型先
端サービス実装化支援

事業補助金とデジタル
田園都市国家構想との
関連性について伺う。

答 デジタル田園都市
国家構想の取組と当該
補助金は並行して進め
ていくこととなります。

当該補助金は地元の企
業や団体と、市サテラ
イトオフィス等に進出
した企業が連携して、
地域の抱える課題につ
いて、先端サービスを
使って解決していくこ
とを支援するものであ
り、デジタル田園都市
国家構想推進交付金へ
申請した6分野以外の
取組や、これまでの提
案にない新しい視点で

の取組などへの支援も
想定しています。

問 地域課題解決型先
端サービス実装化支援

事業補助金の効果の検
証について伺う。

答 これまで地方創生
推進交付金を活用した
事業については、市ま
ち・ひと・しごと創生
包括連携協議会におい
て、地元企業を中心に
事業検証会議を組織し
ており、当該会議にお
いて具体的な事業の状
況を評価してきました。
地域課題解決型先端サ
ービス実装化事業補助
金についても、同様の
枠組みの中で評価を行
い、効果を検証してい
く考えです。

議案第47号
令和4年度
一般会計
補正予算
(第4号)

商業地域活性化事業費

【事業目的・概要】

原油価格や物価の高騰により、低下が予想され
る地域内の消費喚起を目的とし、プレミアム商品
券を追加発行するため、予算措置するものです。
【事業費の内訳】
プレミアム商品券事業補助金 8648万円

事業主体者の事業費積算内容は

問 事業主体である会
津若松商工会議所が積
算している委託費の内
容について伺う。

答 委託費の内訳とし
て、商品券引換初日や
週末における引換場所
の混雑への対応に必要
な5日分の駐車場の警
備に係る経費として20
万円を、また、商品券
引換期間中における引
換場所から金融機関へ
の安全な現金輸送を確
保するために必要な14

日分の経費として80万
円を、さらに、印刷さ
れた商品券の検品作業
に係る経費として24
0万円の合計340万
円を計上しています。
なお、過去のプレミア
ム商品券事業において
は、商品券の検品を会
津若松商工会議所が直
営により行っていたと
ころであります。事
業規模の拡大により直
営での対応が困難とな
ることから、今般、商

品券の検品に係る経費
を新たに委託費として
計上したものでありま
す。

問 プレミアム商品券
事業の事業費に係る経
費の、更なる精査の必
要性について伺う。

答 財源は貴重な税金
であると感じて事業
費を精査したつもりで
すが、今後の事業執行
に当たっては、より厳
しい視点で精査してい
きます。

※また、本案について、
予算決算委員会第3分
科会において委員間討
議が行われ、「プレミ
ム商品券事業補助金
の事業執行に当たって
は、事業費の更なる精
査を重ねるべきである」
との分科会としての合
意点を確認しました。

※なお本件について、
議会として別掲のとおり、
要望的意見を取り
まとめ、市長へ提出し
ました。

別掲（要望的意見）

プレミアム商品券事業補助金に係る事業費の精査について

プレミアム商品券事業補助金は、原油価格や物
価の高騰により、低下が予想される地域内の消費
喚起を目的としており、今般の補正予算により事
業規模を拡大しようとする趣旨については理解す
るものであるが、質疑に対する答弁からは、会津
若松商工会議所が積算した事業費に対して執行機
関においてどのような精査がなされたのかが明確
とならず、事業費の十分な精査について疑義が残
るものであることから、プレミアム商品券事業補
助金の事業執行に当たっては、特に商品券の検品
に係る経費を含む委託費をはじめとした事業費に
ついて十分に精査した上で、市としても円滑な事
業の執行を支援するよう要望するものである。

学校給食食材購入費

【事業目的・概要】

社会情勢の変化に伴い、急激に高騰している学校給食の食材の一部を現物支給することで、円滑な学校給食の実施を図るため予算措置するものです。

【事業費の内訳】

需用費（食材費）

1373万9千円

学校給食食材の現物支給の効果は

問 学校給食食材購入費に係る食材費高騰の状況について伺う。

答 価格が約67・5%上昇している食用油をはじめ、各種食材の価格が急激に高騰している状況にあります。

問 学校給食費の保護者負担増加の抑制手法として、食材の現物支給とすることの理由について伺う。

答 補助金として交付する場合は、補助金交付要綱の制定や、補助金交付に係る事務手続き等に一定程度の時間を要することとなります。今回、給食食材費



の急激な高騰に対し、迅速に対応するために現物支給としました。

問 本事業による保護者負担の抑制額について伺う。

答 本事業により小学生1人あたり1349円、中学生1人あたり1624円、幼稚園児1人あたり1468円の負担抑制になると試算しています。

議案第45号 会津若松市 国民健康保険 税条例の 一部を改正 する条例

【条例改正の趣旨・理由】

担税能力に応じた負担を図るため、国民健康保険税（基礎課税分及び後期高齢者支援金分）の課税限度額を引き上げるために条例を改正するものです。

条例改正による事業への効果は

問 国民健康保険税の課税限度額の引き上げによる国民健康保険事業への効果について伺う。

答 課税限度額を引き上げることにより、高所得者層からの増収が見込まれ、低所得者層や中間所得者層の負担を求めることなく、国民健康保険事業の安定的な運営を図ることができま

問 国民健康保険事業における担税能力に応じた負担の考え方にについて伺う。

答 高齢化の進展により医療給付費が増加している状況において、持続可能な医療保険制度の構築が必要であることから、段階的に課税限度額の引き上げが行われてきた経過にあります。一方で、低所得者層に対する税の軽減措置や、未就学児に係る均等割額の軽減措置の導入、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した方への減免など、担税能力に応じた負担を図っています。

議案第46号 会津若松市 農村環境改善 施設条例の 一部を改正 する条例

【条例改正の趣旨・理由】

会津若松市基幹集落センターに指定管理者制度を導入するに当たり、通常の公募を行う手続きによらず、同センターの指定管理者候補者の選定を行えるようにするために条例を改正するものです。

公募しないことの有効性は

問 公募によらず基幹集落センターの指定管理者候補者の選定を行うことの有効性について伺う。

答 公募によらず、地域づくり活動に取り組んできた組織を指定管理者候補者として選定することにより、施設の設置目的である農村地域の活性化、地域が主体となったまちづくりの推進及び施設の更なる有効活用が図られる点において有効と認識しています。

問 応募意向がある団

体が応募機会を失う可能性があることへの配慮について伺う。

答 指定管理者の指定期間は4年間でありますが、指定管理者候補者の選定に当たっては非公募を前提とするのではなく、指定管理者候補者選定の都度、公募の必要性を判断していく考えです。

請願・陳情

6月定例会で審査された請願、陳情の審査の経過と結果をお知らせします。

案件	請願・陳情内容	所管委員会における審査経過および結果	本会議における審議結果
請願第2号 消費税インボイス制度の実施中止を求めることについて (請願者) 会津若松民主商工会 会長 田勢 元喜さん (紹介議員) 松崎 新議員 他1名	消費税インボイス制度の実施を中止することについて、関係機関に働きかけてほしい	総務委員会の審査において、一部の委員より賛否の意見がありました。 反対意見 インボイス制度の導入による免税事業者への影響を踏まえた対応を考えていかなければならないところではあるが、税金は適正な納税が求められており、インボイス制度のような適正な消費税額を記載する書類により明細をはっきりさせるべきであると考えことから、本請願に反対する。 賛成意見 インボイス制度が導入されることにより、これまで免税事業者であった多くの事業者が影響を受けることとなるが、導入に当たっての課題が多く、さらに周知も不十分であると考えことから、願意の趣旨は当然と考え、本請願に賛成する。 【審査結果】 本請願については、賛成少数をもって不採択とすべきものと決められました。	不採択
陳情第2号 開口式防火水槽の修繕等について (陳情者) 崎川町内会 区長 瀧田 福一さん	開口式防火水槽について蓋を設置することなど、4点について特段の措置を講じてほしい。	文教厚生委員会の審査において、陳情に係る防火水槽の必要性及び維持管理の在り方を論点とし、委員間討議が行われ、「湊地区は防火水槽の必要性が高い地域であることから、市は町内会、常備消防、消防団等の関係者と十分に協議し、機能維持及び安全対策について適切な措置を講じる必要がある。なお、防火水槽の管理の在り方については、市全体に共通する課題であり、市は適切な施策を講じるべきである」との委員会としての共通認識に至りました。 【審査結果】 本陳情については、願意の趣旨当然と認められることから採択すべきものと決められました。	採択
陳情第3号 湊町大字静潟地内市道の補修等について (陳情者) 陳情第2号と同じ	市道幹Ⅱ-21号線におけるガードレールの破損箇所を修繕することなど、6点について特段の措置を講じてほしい。	建設委員会の審査において、陳情内容の一部は既に市による補修などの対応が行われており、他の陳情箇所についても、市が今年度以降対応していく考えであることが確認されたことから、「陳情第3号及び同第4号については、市の考えについて陳情者に説明し、改めて陳情者の意向を確認する必要がある」との共通認識に至りました。 【審査結果】 本陳情につきましては、更に慎重に審査を進めていく必要があることから、議会閉会中の継続審査とすべきものと決められました。	継続審査
陳情第4号 市道湊3-28号線における視距の改良について (陳情者) 陳情第2号と同じ	次の事項について、特段の措置を講じてほしい。 - 市道湊3-28号線における曲線部の法面を防草化すること。 - 市道湊3-28号線における樹木の枝払いを行うこと。		

6月定例会に提出された議案等とその審議結果

番号	件名
議案 (12件)	
36	会津若松市議会基本条例の一部を改正する条例
37	会津若松市議会定例会に関する条例の一部を改正する条例
38	会津若松市議会会議規則の一部を改正する規則
39	会津若松市議会参考人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例
40	市長の専決処分事項の指定について
41	令和4年度会津若松市一般会計補正予算 (第3号)
42	会津若松市税条例等の一部を改正する条例
43	会津若松市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例
44	会津若松市支所及び市民センター設置条例の一部を改正する条例
45	会津若松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

番号	件名
46	会津若松市農村環境改善施設条例の一部を改正する条例
47	令和4年度会津若松市一般会計補正予算 (第4号)
以上、原案のとおり可決	
報告 (5件)	
5	監査の結果報告について
6	令和3年度会津若松市一般会計繰越明許費繰越計算書について
7	令和3年度会津若松市水道事業会計予算繰越計算書について
8	令和3年度会津若松市下水道事業会計予算繰越計算書について
9	令和3年度会津若松市国民健康保険特別会計繰越明許費繰越計算書について
承認 (1件)	
1	公平委員会委員の選任について 小池 達哉さん (東米町)
同意	

番号	件名
意見書案 (2件)	
2	被災児童生徒就学支援等事業の継続及び被災した児童・生徒への十分な就学支援について
3	地方財政の充実・強化について
原案のとおり可決。なお、この具現化を図るため、関係行政庁等へ意見書を送付しました。	
請願・陳情 (4件)	
請願 2	消費税インボイス制度の実施中止を求めることについて (会津若松民主商工会 会長 田勢 元喜さん) ・紹介議員～松崎 新議員 他1名
不採択	
陳情 2	開口式防火水槽の修繕等について (崎川町内会 区長 瀧田福一さん、以下陳情第3号、同第4号も同じ)
採択	
3	湊町大字静潟地内市道の補修等について
4	市道湊3-28号線における視距の改良について
以上、継続審査	

※アミかけ部分が採決で賛否が分かれた案件です。

※アミかけ以外は全会一致による可決や採択等を表しています。

令和4年6月定例会の議決結果

議案等名	議員名	議決結果	賛成・反対	市民クラブ		フォーラム会津			創風あいづ			みらい			社民フォ		共産		公明党		社		夢				
				高橋義人	小倉孝太郎	清川雅史	戸川稔朗	石田典男	内海基	長郷潤一郎	古川雄一	中島好路	渡部認	吉田恵三	村澤智	横山淳	目黒章三郎	小畑匠	後藤守江	大竹俊哉	高梨浩	丸山さよ子	松崎新	原田俊広	齋藤基雄	奥脇康夫	大山享子
意見書案第3号 地方財政の充実・強化について	原案可決	23:2		○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
請願第2号 消費税インボイス制度 の実施中止を求めることについて	不採択	6:19		●	●	－	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●
陳情第2号 開口式防火水槽の修繕 等について	採択	24:1		○	○	－	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成 ●は反対 討は討論がなされた案件

※ 議長 (清川雅史) は採決に加わらない

※ 会派名の略称は次のとおり みらい⇒みらいの会 社民フォ⇒社民フォーラム 共産⇒日本共産党会津若松市議団
社⇒社会民主党・市民連合 夢⇒夢クラブ

意見交換会

議案等の審査

審賛
議否
結一
果覧

討論・意見書

一般質問

定例会以外の
議会活動



討 論

討論は、表決の前に議題になっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することをいいます。なお、6月定例会で討論があったものすべてを掲載しています。

本市では、討論に先立ち議員間討議を位置付け、議論の経過を含めた説明責任を適切に果たすこととしています。

請願第2号 消費税インボイス制度の実施中止を求めることについて



賛成

原田 俊広 議員

この請願は、令和5年10月から導入されるインボイス（適格請求書保管）制度の実施中止を求める請願であるが、インボイスが導入されると、消費税を納めていない小規模の免税事業者は大きな増税となるだけでなく、取引から外される可能性もあるなど大きな問題がある制度である。願意の趣旨は当然であり賛成する。

請願第2号 消費税インボイス制度の実施中止を求めることについて



反対

長郷 潤一郎 議員

現在の消費税は、複数の税率制度や免税事業者制度などがあることから、納税の仕組みが複雑化している。インボイス制度は納税履歴の適格請求書の保存制度で、納税の不正防止や複雑な計算ミス無くし、適正で透明性のある納税にするために必要な制度であることから、インボイス制度の実施中止を求める本請願に反対する。

意見書案第4号 地方財政の充実・強化について



反対

斎藤 基雄 議員

意見書案には、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえた固定資産税の軽減を令和4年度で終了することを求める一項がある。

しかし、これに伴う地方減収分は、国が新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金により全額補填することになっている。終了要請は、住民負担増に繋がるものであり反対する。

意見書

意見書とは、地方自治法第99条に基づき、地方公共団体の公益に関することに関して、議会の意思を意見としてまとめた文書です。議会は、その意見書を国会または関係行政庁に提出することができます。

今定例会で可決された意見書の内容は、次のとおりです。

被災児童生徒就学支援等事業の継続及び被災した児童・生徒への十分な就学支援について（抜粋）

東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、令和5年度においても、全額国庫負担による被災児童生徒就学支援等事業を継続し、十分な就学支援に必要な予算確保を行うことについて、内閣総理大臣、総務大臣等関係機関へ意見書を送付しました。

地方財政の充実・強化について（抜粋）

- 1 社会保障の維持・確保、防災、脱炭素化対策、地域活性化に向けた取組、デジタル化対策等、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う十分な地方一般財源総額の確保を図ること。
- 2 社会保障分野について、急増する社会保障ニーズに対応するための地方自治体における地方単独事業分も含めた十分な社会保障関連経費の拡充を図ること。また、社会保障分野を支える人材確保に向けた地方自治体の取組を十分に支える財政措置を講じること。
- 3 臨時財政対策債に頼らない自律的な地方財政を確立すること。

その他6点を含め、内閣総理大臣、内閣官房長官等関係機関へ意見書を送付しました。

市の考えを問う

一般質問

分野別目次

- ◇教育・文化…………… P10
- ◇行・財政…………… P11
- ◇生活・環境…………… P13
- ◇健康・福祉…………… P13
- ◇産業・経済…………… P14
- ◇建設・都市計画… P15

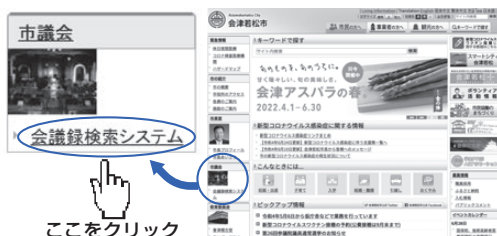
一般質問は、市政全般の事務事業について市の方針をただすものです。
6月定例会の一般質問は、6月13日から15日まで行われ、17名の議員が登壇しました。
その主な内容を、一人一項目とし、分野別に掲載しました。

会議録が閲覧できます

6月定例会の会議録は8月下旬からご覧いただけます。

①インターネット上での閲覧

市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。



②会議録（印刷したもの）による閲覧

会津図書館、各公民館、議会事務局、市政情報コーナーに設置してあります。



議会映像配信を行っています

市議会ホームページよりご覧いただけます。

①ライブ映像

定例会および臨時会の本会議ならびに予算決算委員会の開催中に、ユーチューブライブにより配信。



②録画映像

定例会および臨時会の閉会から約1カ月後に、ユーチューブにより配信。

各議員の名前の下に掲載してある二次元バーコードから各議員の一般質問の録画映像にアクセスできます。（スマートフォン用）

6月定例会録画映像の
トップページはこちらから⇒



※ 本会議では、壇上へアクリル板を設置するなど、感染症対策を行っています。

教育・文化

市民が文化財に関わる仕組みを

問 令和4年3月に策定された市文化財保存地域計画では、住民・民間団体・文化財部局・庁内関係部局等が地域総がかりで文化財を守り・活かし・伝える体制の構築を図り、文化財の存続につなげていくことが期待されています。本市では市民協働が推進され、学校支援ボランティアや地域支援ネットワークボランティア等、市民が参加しやすい仕組みがあります。文化財の保存・活用についても、市民との協働は重要であることから、団体や個人にかかわらず、市民が積極的に文化財の保存・活用に関わるこ



社民フォーラム
丸山 さよ子 議員



とができる仕組みが必要ではないですか。

答 本市における歴史資源は多岐にわたっており、その保存や活用は幅広い分野の方々の関わりが不可欠であると認識しています。今後は、庁内における情報共有や、地域における意見交換を通して、保存活用に対する考え方の把握に努めながら、地域としてできること、行政の役割などを整理し、市民協働の在り方について研究していきます。



PTAを廃止し新たな組織を

答 各学校の実状に応じた対応を支援

「PTAの活動負担が大きい」等のネガティブな声が聞こえてきます。そこで、従来のPTA組織を廃止し、新たな団体を立ち上げて活動する学校が増えてきています。東京都には、PTAを廃止しボランティア制のPTO^{*}を設立した小学校があります。本市においても、PTOのような組織を導入する場合の問題点等も含めた見解を示してください。

支援する活動を継続していく上で、必要なことと認識しています。

現在、本市においてもPTA役員が主体となり、ボランティア制による新しいPTA活動を試行している学校もあります。活動に十分なボランティアが集まらない時の対応などが課題と考えています。

今後は、先進事例を調査研究し、各学校の実状に応じた対応となるよう支援していきます。

※PTOとは

Parent - Teacher Organization 略「できるとき」「できる人が、できることをやる」を基本とし活動するボランティア団体。

【答】 各学校でPTA活動における課題解決のために必要な検討を進めていくことは、子どもたちのより良い学校生活や健やかな成長を

行・財政



日本共産党会津若松市議団
原田 俊広 議員

スマートシティは最優先課題か

答 市の総合計画を貫くコンセプト

問 東日本大震災と東京電力福島第一原発事故からの復興の途上であり、コロナ禍と政府の経済政策の失敗による生活困難者の増大など、生活の深刻さが増している現在、最優先課題はスマートシティなどではなく、苦しさを増している市民生活に心を寄せ、市民に直接関わる福祉施策の充実であり、基幹産業でありながら深刻さが増大している米作を中心とした本市の農業振興であり、観光、酒造業、漆器など、会津が誇る地場産業への直接支援であると考えますがいかがですか。

答 スマートシティの

取組は、第7次総合計画の全体を貫くコンセプトとして位置付け、仕事づくりや快適に住みやすい街づくり等を目的として推進しているものであり、健康や福祉、教育等、様々な分野の課題を先端技術を活用して解決するための有効な手段であると考えています。

その他の質問趣旨
▽手話言語条例制定と
補聴器購入補助制度
の創設

本市の行財政改革の課題は

答 人口減少等に対する歳入の増加策

問 令和4年度から新たに「行財政改革の取組」を策定しましたが、本市の課題と解決のための取組を伺います。

【答】 主な課題は、人口の減量化が期待できる減少や少子高齢化が進むと認識しています。

問 自主財源の増加のためのネーミングライツ事業の検討に当たり、課題をどのように整理していくのか伺います。

こうした課題に対して、**〔持続可能な財政運営〕**「施設の管理・運営の最適化」「行政サービスの質の向上と効率化」の視点で取り組みます。

〔答〕 導入に当たっては、市民の皆様の理解が大切であり、契約金額の妥当性や導入の時期等について整理していきます。

問 ごみの有料化の目的である、排出量に応じた負担の公平化に対する認識を伺います。

答
ごみの有料化は、

市民クラブ
小倉 孝太郎 議員

※ネーミングライツとは

公共施設の名称（愛称）を付与する命名権と、付帯する諸権利のこと。



フォーラム会津
内海 基 議員



デジタル化による市民生活向上は

【答】 快適性や利便性が向上した

【問】 行政サービスを利
用する市民からすると、
デジタル化による行政
サービスの効率化や利
便性の向上を理解・実
感できない現状にある
と考えますが、認識を
伺います。

上したと実感いただい
ていると認識していま
す。今後より一層の
周知を図りながら、取
組を推進するとともに
市民評価についても定
量的な把握に努めてい
きます。

その他の質問趣旨

▽教職員の業務負担軽
減と部活動指導員の
確保

▽道の駅

▽道の駅

▽道の駅

▽オンライン診療推進
事業

【答】 「除雪車運行シス
テム」「LINEで
チャット問い合わせ
サービス」「ゆびナ
ビ」サービス等、多く
の市民に使用されてい
ます。市民課窓口での
満足度アンケートの結
果では、「ゆびナビ」
サービスの導入前後で、
利用される方々からの
満足度が約6割から約
8割へ上がっているこ
となどから、市民生活
の快適性や利便性が向



待ち時間の短縮等が図られます



創風あいづ
目黒 章三郎 議員



人口減少対策への取組と課題は

【答】 子育て家庭の支援等に努める

【問】 人口問題とジェン
ダー問題は深く関わっ
ていますが、本市の課
題を示してください。

【答】 性別による役割分
担意識を支持する割合
は、平成19年度調査で
は41・7％、平成29年
度では31・8％と減少
し改善傾向にあります
が、その意識の解消が
課題の一つであると捉
えています。

【問】 子育て相談の内容
は、市の施策にどのよ
うに反映していますか。

【答】 5歳児発達相談機
会の拡充、家庭に問題
を抱えるケースの検討
や支援、保育所等の利
用者負担額の多子軽減
による経済的支援など、
様々な施策に反映させ

子育て家庭の支援に努
めています。

【問】 定住・二地域居住
施策の成果を伺います。

【答】 令和3年度までに
計159世帯282名
の方が実践されました。

【問】 地域おこし協力隊
は課題解決に活躍し、
任期後の定住率も高い
ため、多数募集してい
ますか。

【答】 庁内への協力隊制
度の周知を行い、制度
の有効活用が可能な事
業を検討し、さらなる
活用を図ります。

【問】 市が関与する町内
会や各種団体の新たな
役員の担い手の養成な
ど、人材育成の現状と
課題について考えを示
してください。

【答】 多様化・複雑化す
る地域課題の解決のた
めには、地域の力が不
可欠であり、地域課題
の解決を推進する人材
の創出に取り組んでい
ます。また、多くの方
が地域づくりに熱心
に取り組んでいる北会津
・河東・湊地区等での
取組を他地域へ展開し
ていくことが課題です。

【問】 消防団など地域の
各種団体の在り方につ
いて、現状認識と今後
の方向性について考え
を示してください。

【答】 会員の減少や役員
等の固定化、事務局の
担い手不足など様々な
課題が顕在化している
ため、今後は、それぞ
れの団体の持続可能な
在り方について検討す
る必要があると認識し
ています。具体的には、
組織の規模、活動内容
の見直しやスリム化、
事務局機能の支援制度
の構築、統廃合等の組
織再編なども含め、各
地区の地域コミュニテ
ィ活性化の取組と連携
を進めていきます。



社民フォーラム
高梨 浩 議員



地域づくりのための人材育成は

【答】 課題解決を推進する人材を創出

【問】 市が関与する町内
会や各種団体の新たな
役員の担い手の養成な
ど、人材育成の現状と
課題について考えを示
してください。

【答】 多様化・複雑化す
る地域課題の解決のた
めには、地域の力が不
可欠であり、地域課題
の解決を推進する人材
の創出に取り組んでい
ます。また、多くの方
が地域づくりに熱心
に取り組んでいる北会津
・河東・湊地区等での
取組を他地域へ展開し
ていくことが課題です。

【問】 消防団など地域の
各種団体の在り方につ
いて、現状認識と今後
の方向性について考え
を示してください。

【答】 会員の減少や役員
等の固定化、事務局の
担い手不足など様々な
課題が顕在化している
ため、今後は、それぞ
れの団体の持続可能な
在り方について検討す
る必要があると認識し
ています。具体的には、
組織の規模、活動内容
の見直しやスリム化、
事務局機能の支援制度
の構築、統廃合等の組
織再編なども含め、各
地区の地域コミュニテ
ィ活性化の取組と連携
を進めていきます。

【問】 市が関与する町内
会や各種団体の新たな
役員の担い手の養成な
ど、人材育成の現状と
課題について考えを示
してください。

【答】 多様化・複雑化す
る地域課題の解決のた
めには、地域の力が不
可欠であり、地域課題
の解決を推進する人材
の創出に取り組んでい
ます。また、多くの方
が地域づくりに熱心
に取り組んでいる北会津
・河東・湊地区等での
取組を他地域へ展開し
ていくことが課題です。

【問】 消防団など地域の
各種団体の在り方につ
いて、現状認識と今後
の方向性について考え
を示してください。

【答】 会員の減少や役員
等の固定化、事務局の
担い手不足など様々な
課題が顕在化している
ため、今後は、それぞ
れの団体の持続可能な
在り方について検討す
る必要があると認識し
ています。具体的には、
組織の規模、活動内容
の見直しやスリム化、
事務局機能の支援制度
の構築、統廃合等の組
織再編なども含め、各
地区の地域コミュニテ
ィ活性化の取組と連携
を進めていきます。

【問】 市が関与する町内
会や各種団体の新たな
役員の担い手の養成な
ど、人材育成の現状と
課題について考えを示
してください。

【答】 多様化・複雑化す
る地域課題の解決のた
めには、地域の力が不
可欠であり、地域課題
の解決を推進する人材
の創出に取り組んでい
ます。また、多くの方
が地域づくりに熱心
に取り組んでいる北会津
・河東・湊地区等での
取組を他地域へ展開し
ていくことが課題です。

【問】 消防団など地域の
各種団体の在り方につ
いて、現状認識と今後
の方向性について考え
を示してください。

【答】 会員の減少や役員
等の固定化、事務局の
担い手不足など様々な
課題が顕在化している
ため、今後は、それぞ
れの団体の持続可能な
在り方について検討す
る必要があると認識し
ています。具体的には、
組織の規模、活動内容
の見直しやスリム化、
事務局機能の支援制度
の構築、統廃合等の組
織再編なども含め、各
地区の地域コミュニテ
ィ活性化の取組と連携
を進めていきます。

【問】 市が関与する町内
会や各種団体の新たな
役員の担い手の養成な
ど、人材育成の現状と
課題について考えを示
してください。

【答】 多様化・複雑化す
る地域課題の解決のた
めには、地域の力が不
可欠であり、地域課題
の解決を推進する人材
の創出に取り組んでい
ます。また、多くの方
が地域づくりに熱心
に取り組んでいる北会津
・河東・湊地区等での
取組を他地域へ展開し
ていくことが課題です。

【問】 消防団など地域の
各種団体の在り方につ
いて、現状認識と今後
の方向性について考え
を示してください。

【答】 会員の減少や役員
等の固定化、事務局の
担い手不足など様々な
課題が顕在化している
ため、今後は、それぞ
れの団体の持続可能な
在り方について検討す
る必要があると認識し
ています。具体的には、
組織の規模、活動内容
の見直しやスリム化、
事務局機能の支援制度
の構築、統廃合等の組
織再編なども含め、各
地区の地域コミュニテ
ィ活性化の取組と連携
を進めていきます。

【問】 市が関与する町内
会や各種団体の新たな
役員の担い手の養成な
ど、人材育成の現状と
課題について考えを示
してください。

【答】 多様化・複雑化す
る地域課題の解決のた
めには、地域の力が不
可欠であり、地域課題
の解決を推進する人材
の創出に取り組んでい
ます。また、多くの方
が地域づくりに熱心
に取り組んでいる北会津
・河東・湊地区等での
取組を他地域へ展開し
ていくことが課題です。



創風あいつ
吉田 恵三 議員



デジタル格差を是正する取組は

〔答〕 情報通信機器に触れる機会を確保

〔問〕 会津地域自治体広域連携指針の指針9には、身体的理由等により情報通信技術を使いこなせない住民と使うことができる住民との間で受けるサービスに差が生じることは許されないとありますが、市民間のデジタル格差の是正に向けた取組を示してください。

〔答〕 整備が広報広聴の強化につながると思います。が、認識を伺います。

〔問〕 現在、公民館8か所をはじめ、会津図書館や支所等の公共施設にWi-Fiを整備するとともに、コミュニティセンター等においても、利用者のニーズに応じて、Wi-Fiの整備等に取り組んでおり、今後

も庁内及び指定管理者等と協議を行いながら、インターネット環境の整備について検討していきます。

〔問〕 公共施設におけるインターネット環境の

生活・環境



創風あいつ
村澤 智 議員



脱炭素先行地域の選定に応募を

〔答〕 応募を検討していく

〔問〕 会津地方には、只見川の豊かな水量を利用した水力発電所が数多くあり、送電線の空き容量が少ないため、太陽光発電などの高圧電力以上の大容量発電は、送電線への新たな連系が難しい状況にあります。本市の脱炭素を推進するに当たり、影響が出てくると考えますが認識を伺います。

〔答〕 ゼロカーボンシティを宣言した本市においても、選定に向けて応募する価値はあると考えますが認識を示してください。

〔問〕 国の積極的な支援も期待できることから、「ゼロカーボンシティ会津若松」の実現に向けた取組をより効果的かつ、市民の皆さまにも見える形で進めて行くため、「脱炭素先行地域」選定への応募について検討していきます。

〔答〕 再生可能エネルギーの地産地消を目指す「地球温暖化対策実行計画」を推進する上で、少なからず影響があると認識しています。

〔問〕 国は今後100か所の脱炭素先行地域で先行的な取組を実行していくとしています。

健康・福祉



みらいの会
後藤 守江 議員



多子世帯への支援を拡充すべき

〔答〕 制度の在り方や効果を慎重に検討

〔問〕 子どもを生み育てやすいまちづくりを進めるため、多子世帯への経済的な支援策を拡充すべきと考えますが、見解を伺います。

〔答〕 対象拡大は、多子世帯の増加に向け、有効な誘因策であると考えます。多子軽減の対象の拡大に対する見解を伺います。

〔問〕 出産祝い金の支給などの経済的支援については、支給額や支給方法等を含めた制度の在り方、効果などを慎重に検討し、子どもを産み育てやすい環境の整備に努めていきます。

〔問〕 市は、令和3年度行政評価結果報告書において、保育所・認定こども園等の利用者負担額について、多子軽減の対象範囲を18歳まで拡大し、さらなる軽減を検討していくとしています。多子軽減の





公明党
奥脇 康夫 議員



障害者手帳更新時の負担軽減を

問 助成制度等を国や県へ要望する

問 障害者手帳の更新時における診断書作成料の助成制度を導入すべきと考えますが、認識を伺います。

答 整理すべき課題もあるため、慎重な対応が必要であるとして認識しています。

問 医師の意見書等との整合性を含め、課題があると認識しており、手帳を更新する方の負担軽減に向け、更新期間の延長や助成制度等について、国や県に要望してまいります。

問 終末支援の相談およびサポート体制の構築等が必要と考えますが、認識を伺います。

問 地域福祉課の生活サポート相談窓口では、様々な相談対応を行っており、終末支援に係る相談についても、関係部局が連携し、丁寧な相談と寄り添った支援に努めてまいります。

問 終末支援における支援の取組が必要と考えますが、認識を示してください。

問 高齢者の単身世帯の増加に伴い、その必要性は今後さらに高まると考えています。しかし、本人に関する情報の取扱い等、



日本共産党会津若松市議団
斎藤 基雄 議員



生活保護受給者の自動車保有は

問 限定的に認めている

問 生活保護受給者の自動車保有についての認識、市における受給者の自動車保有状況および保有を認めた事由を示してください。

答 生活保護受給者の自動車保有は、受給者が自立を図る上で大いに有効と考えますが、認識を示してください。

問 自動車保有については、個別の事情を勘案して判断すべきと考えています。令和3年度末における生活保護受給者の自動車保有台数は23台です。現段階においては、日常生活の便利に用いられるのみでは保有を認めておらず、通勤や子どもの送迎、通院等の事業用として、国の基準等に基づき、世帯の状況や地理的条件など、特段の事情を勘案し、保有を認めています。

答 自動車は、生活保護受給者の自立に向けて有効となる場合もあると認識していますが、市としては、今後も、生活保護法をはじめ、国、県の基準等により対応する考えです。

産業・経済



みらいの会
大竹 俊哉 議員



サステナブルツーリズムの認識は

問 観光振興計画に位置付け取り組む

問 国が推奨しているサステナブルツーリズムを市の観光振興計画の中に位置付け、力を入れていくべきと考えますが、基本認識と計画への位置付けに対する考えを伺います。

答 代表する魅力的な自然資源であることから、サステナブルツーリズムに位置付け、自然環境を守りながら、観光資源として積極的に活用を図ってまいります。

問 本市においても、重要な取組であると認識しており、令和4年度に見直しを予定している観光振興計画に位置付け、経済・社会・環境の好循環により、魅力ある観光地域の維持に取り組めます。

問 法令や条例に基づく罰則の対象となることを周知するなど、発生防止に努めてまいります。

問 猪苗代湖西岸の湊四浜をサステナブルツーリズムの中心に位置付けるべきと考えますが、見解を伺います。

答 湊四浜は、本市を

※サステナブルツーリズムとは
訪問客や環境、観光地の需要に対応しつつ、現在や将来の経済、環境等への影響を十分に考慮する観光。持続可能な観光。



夢クラブ
成田 芳雄 議員



建物等の解体撤去費等の補助を

【答】 公平性等に配慮し調査・研究する

【問】 令和4年4月1日

現在の空き家等の件数
および空き家等を解消
するための対応と成果
を伺います。

【答】 毎年約70件の増加
を想定しています。

【問】 空き家等やその跡
地を地域資源として流
通を促すため、所有者
等へ建物等の解体撤去
等の補助金を交付すべ
きではないですか。

【答】 空き家等は158
6件あります。平成26
年の特別措置法の公布
後に空家等対策協議会
を設置し、令和3年4
月には第2期空家等対
策計画を策定し、利活
用対策等に取り組んで
います。成果としては、
補助制度を活用した改
修などによる利活用の
増加や特定空き家を21
件認定し、うち9件の
解消につなげたことな
どが挙げられます。

【問】 今後の空き家等の
増減に対する見通しを
示してください。



議会の動き

4月

- 7日 ● 広報広聴委員会
- 8日 ● 議会運営委員会
- 12日 ● 議会運営委員会
- 政策討論会第2分科会
- 政策討論会議会制度検討委員会
- 14日 ● 広報広聴委員会
- 総務委員会協議会
- 政策討論会第1分科会
- 15日 ● 議会運営委員会
- 19日 ● 4月臨時会
- 各派代表者会議
- 政策討論会第3分科会
- 政策討論会第4分科会
- スーパーシティ構想に関する調査会
- 21日 ● 議会運営委員会
- 22日 ● 建設委員会協議会
- 26日 ● 広報広聴委員会
- 政策討論会議会制度検討委員会
- 27日 ● 各派代表者会議
- 文教厚生委員会協議会
- 政策討論会第2分科会
- 28日 ● 議会運営委員会

5月

- 8日 ● 市民との意見交換会（15地区）
～15日まで
- 9日 ● 議会運営委員会
- 10日 ● 各派代表者会議
- 議員全員協議会
- 13日 ● 議会運営委員会
- 16日 ● 5月臨時会
- 各派代表者会議
- 議会運営委員会
- 議員全員協議会

6月

- 16日 ● 文教厚生委員会
- 17日 ● 広報広聴委員会
- 23日 ● 議会運営委員会
- 総務委員会協議会
- 政策討論会第1分科会
- 24日 ● 広報広聴委員会
- 25日 ● 建設委員会協議会
- 26日 ● 文教厚生委員会協議会
- 政策討論会第2分科会
- 27日 ● スーパーシティ構想に関する調査会セミナー
- 30日 ● 5月臨時会
- 各派代表者会議
- 議会運営委員会
- 31日 ● 政策討論会第3分科会
- 2日 ● 各派代表者会議
- 議会運営委員会
- 7日 ● 広報広聴委員会
- 9日 ● 6月定例会招集日（日程は4ページを参照）
- 議会運営委員会
- 広報広聴委員会
- 16日 ● 予算決算委員会理事会
- 17日 ● 文教厚生委員会協議会
- 建設委員会協議会
- 政策討論会第2分科会
- 20日 ● 総務委員会協議会
- 産業経済委員会協議会
- 政策討論会第3分科会
- 22日 ● 議会運営委員会
- 政策討論会第2分科会
- 24日 ● 6月定例会最終本会議
- 各派代表者会議
- 議会運営委員会
- 広報広聴委員会
- 28日 ● 議会運営委員会
- 29日 ● スーパーシティ構想に関する調査会セミナー
～30日まで

令和3年度政務活動費の収支状況をお知らせします

令和3年度政務活動費 会派別収支状況（図表1）

（単位：円）

会派名 （構成員数）		市民クラブ （4月～6月） 6人 （7月～3月） 5人	フォーラム 会津 （5人）	創風あいづ （4人）	公明党 （3人）	みらいの会 （3人）	社民 フォーラム （3人）	日本共産党 会津若松市議団 （2人）	社会民主党 ・市民連合 （1人）	夢クラブ （1人）	合計 （4月～6月） 28人 （7月～3月） 27人
収 入	会派への当初交付 上半期（4月～9月）	1,155,000	1,050,000	840,000	630,000	630,000	630,000	420,000	210,000	210,000	5,775,000
	会派への当初交付 下半期（10月～3月）	1,050,000	1,050,000	840,000	630,000	630,000	630,000	420,000	210,000	210,000	5,670,000
	交付額合計（A） ※1	2,205,000	2,100,000	1,680,000	1,260,000	1,260,000	1,260,000	840,000	420,000	420,000	11,445,000
支 出	会派での使途別支出額	研究研修費	0	0	84,890	0	0	0	0	0	84,890
		調査旅費	0	0	0	0	205,340	0	0	0	205,340
		資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		資料購入費	170,640	0	22,516	38,940	11,039	65,249	14,540	8,400	331,324
		広報費	0	557,161	1,165,842	0	388,850	492,135	126,368	423,169	3,620,255
		広聴費	0	0	0	0	3,500	0	0	0	3,500
		人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		事務費	65,262	11,730	105,699	15,495	12,404	127,008	10,477	0	348,075
		要望・陳情 活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会派での支出額合計（B）		235,902	568,891	1,378,947	54,435	617,633	662,487	517,152	134,768	4,593,384
政務活動費支出額（C）		235,902	568,891	1,378,947	54,435	617,633	662,487	517,152	134,768	423,169	4,593,384
会派負担額（C）－（A）※2		0	0	0	0	0	0	0	0	3,169	3,169
返 還 額（A）－（C）※3		1,969,098	1,531,109	301,053	1,205,565	642,367	597,513	322,848	285,232	0	6,854,785

※1 会派への交付額は議員1人当たり月額35,000円。

※2 交付額を超える支出については、会派の負担とする。

※3 マイナスとなる場合は0円とする。

政務活動費とは

政務活動費は、市政に関する調査・研究活動に必要な経費の一部として会派に交付され、使途基準（図表2）に基づき支出されています。

収支の内容は毎年度議長に報告し、残額がある場合は、市に返還することになっています。

収支報告書の閲覧を希望される方は、議会事務局（TEL39-1323）までお問い合わせください。

政務活動費の会派別収支状況

（図表1）

令和3年度の政務活動費の会派別収支状況は、図表1のとおりです。

政務活動費の主な使途基準（図表2）

項 目	内 容
研究研修費	研究会および研修会の開催や、他団体が開催する研究会等への参加に係る経費（会場費、講師謝金、出席者負担金等）
調査旅費	調査研究活動のために必要な先進地調査や現地調査に係る経費（交通費、旅費、宿泊費等）
資料購入費	調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入経費
広報費	調査研究活動、議会活動および市の政策について市民に報告し、広告宣伝するための経費（広報紙・報告書作成経費等）
事務費	調査研究活動のために必要な事務経費（消耗品費、事務機器のリース代、郵券代等）

令和4年5月臨時会において、市議会副議長の選挙、議会運営委員会委員の選任が行われたことに伴い、議会構成が変わりましたのでお知らせします。

また、新庁舎整備に伴い令和４年５月から議場をはじめ議会機能が追手町第二庁舎（旧会津学鳳高校）に移りましたが、新しい議場配置図は下図のとおりです。

【議長及び副議長】

議長 清川 雅史

(令和3年8月11日就任)

副議長 横山 淳

(令和4年5月16日就任)

【常任委員会の構成】

◎委員長 ○副委員長



副議長
横山 淳

副議長就任あいさつ

住民福祉の向上を目指して、多様な市民の想いを議会という機関の意思として市長（執行機関）に提言するなため、議会や各委員会の調整役として、議長を補佐してまいります。

総務委員会

◎小 倉 孝太郎 ○長 郷 潤一郎
後 藤 守 江 松 崎 新
目 黒 章三郎

文教厚生委員会

◎原 田 俊 広※ ○丸 山 さよ子
高 橋 義 人 奥 脇 康 夫
讓 矢 隆 古 川 雄 一
横 山 淳

※令和4年5月16日 委員長就任

産業経済委員会

◎吉小斎 田畑藤 恵基 三匠雄 ○渡大戸 部山川 享稔 認子朗

【議会運営委員会の構成】

◎委員長 ○副委員長

◎松崎 新人 ○大竹 俊哉※
高橋 義人 村澤 智
小倉 孝太郎 古川 雄
渡部 認

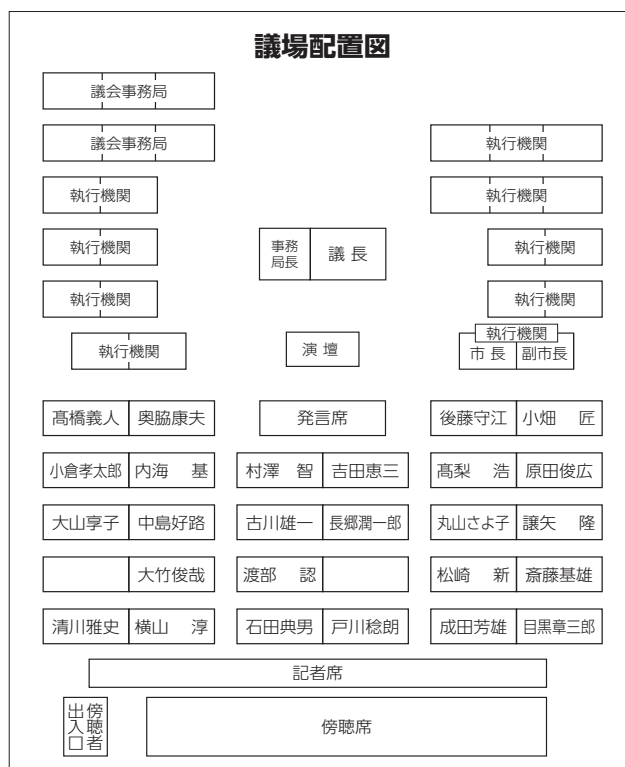
※令和4年5月16日 副委員長就任

建設委員会

◎成田芳雄 ○高梨 浩
内海 基
中島 路
石田 典男

予算決算委員会

◎戸 川 稔 朗 ○丸 山 さよ子
議長を除く全議員（25名）



第556回会津若松市議会 4月臨時会

【新型コロナウイルス感染症対策経費】 生活困窮者自立支援金給付事業を可決

令和4年4月19日に開催された臨時会では、新型コロナウイルス感染症に係る対策経費として、3,682万円の補正予算が提出され審議が行われました。申請受付期間の延長や受給要件緩和の理由などについて質疑応答がなされましたが、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決されました。

議案等の内容



○議案第34号 令和4年度会津若松市一般会計補正予算（第1号）

3,682万円

【補正の内容】

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業費（3,682万円）

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金について、申請受付期間の延長及び支給要件の緩和による給付件数の増加に対応するための経費。

第557回会津若松市議会 5月臨時会

【市議会副議長の選挙、議会運営委員会委員の選任】 副議長に横山 淳議員を選出 議会運営委員会委員に村澤 智議員を選任

令和4年5月16日に開催された臨時会では、市議会副議長の選挙、議会運営委員会委員の選任が行われました。

○選挙第1号 会津若松市議会副議長の選挙 【結果】横山 淳

・副議長選挙投票結果 横山 淳 22票、無効 4票

○選任第1号 会津若松市議会議会運営委員会委員の選任 【結果】村澤 智

第558回会津若松市議会 5月臨時会

【感染症対策経費、新たな財源の確保に伴う経費】 子育て世帯への生活支援特別給付金等を可決

令和4年5月30日に開催された臨時会では、新型コロナウイルス感染症に係る対策経費や国の交付金を活用した施設の大規模改修への支援経費として、2億4,809万4千円の補正予算が提出され審議が行われました。子育て世帯生活支援特別給付金における支給対象者、事業の在り方に対する市の認識、地域介護・福祉空間整備等補助金における補助決定までの経過などについて質疑応答がなされましたが、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決されました。

議案等の内容



○議案第35号 令和4年度会津若松市一般会計補正予算（第2号）

2億4,809万4千円

【補正の内容】

庁舎管理費（1,992万9千円）

市庁舎における新型コロナウイルス感染症対策の強化を図るため、アクリルパーテーションや二酸化炭素濃度測定器等必要な物品の購入に要する経費。

住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費（3,397万円）

令和4年度に新たに住民税非課税となった世帯等に対する臨時特別給付金の給付に要する経費。

住民税非課税世帯等光熱費助成事業費（1,500万円）

昨今のエネルギー価格高騰を踏まえ、住民税非課税世帯等に対する光熱費支援に要する経費。

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（1億7,146万5千円）

食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対する特別給付金の給付に要する経費。

地域介護・福祉空間整備等補助金（773万円）

利用者の熱中症対策等のため、事業者が実施する施設の冷暖房改修費に対する支援に要する経費。

議案に対する主な質疑



問 食農需給マッチングサービスへの期待と事業実装対象の考え方は。

答 食農需給マッチングプラットフォームは、流通の効率化により生産者の所得向上を目指すものであり、農業の魅力向上や就農人口の増加が期待できるものです。

まずは、既に現行の食農需給マッチングに参加している生産者や実需者から、食農需給マッチングプラットフォームを通じた需給マッチングに参加していただく考えです。



問 会津オンライン診療研究会との連携についての認識は。

答 研究会は、世界でも最先端の素晴らしい取組を行っていると感じており、会津地域における医療課題の解決に向けた連携について、十分検討していきます。



問 観光DX（デジタルトランスフォーメーション）サービスを市内の観光事業者

者に広める方策は。

答 観光DXサービスの早期実装に向けて確実にシステムを機能させることが重要であると考えことから、まずは市やスマートシティA i C T入居企業が数多く受け入れているスマートシティに関する視察のパッケージ化から取り組みます。観光事業者には、このようなデジタル技術を用いた新たな取組を身近で体験していただくことを通じて、観光DXサービスに参加したいと思っただけよう理解を促すことが必要であると認識しています。



問 地域防災計画における本防災サービス事業の位置付けは。

答 地域防災計画における避難対策の取組のなかで、デジタルを活用した防災サービスの効果的な活用の在り方の検討を進めていきます。



問 デジタル地域通貨サービスを展開する上での課題は。

答 マネーロンダリングに対する懸念から、通貨の安全性をいかに担保するか、また、今後は行政分野での利用においても実装する考えですが、通貨の安全性や確実性をいかに確認して汎用するかといった課題もあります。デジタル地域通貨の安全で確実な運用に向けては、まだまだ課題が多いですが、一日も早いデジタル地域通貨の流通に向けて、実施主体であるスーパーシティA i C Tコンソーシアムと協議しながら、一つ一つ着実に取り組んでいきます。



問 書かない行政手続ナビの対象手続の拡大が段階的である理由は。

答 まずはじめに、転入・転出・転居に係る各手続について導入し、その成果を踏まえて、順次、対象手続を拡大していきます。国では2025年度までに基幹システムの標準化を順次進める予定であり、国のスケジュールに沿って連携して進めていきます。

データ連携基盤

問 データ連携基盤（都市OS）にかかる知的財産の帰属先及び独占のリスクは。

答 データ連携基盤（都市OS）の知的財産はアクセンチュア株式会社に帰属しています。データ連携基盤（都市OS）については、国が示す標準化されたシステムを構築していくため、コストをかければ他の事業者が作ったものでも代替できないわけではないことから、独占のリスクが軽減されると考えています。また、1者への依存による弊害を生まないために、市と一般社団法人A i C Tコンソーシアム、公立大学法人会津大学の3者による協定を締結し、連携しながら運用していく体制をとっています。

全体プロジェクト管理

問 想定外の問題が発生した場合の管理体制は。

答 第一義的には、各サービスの提供事業者の責任でセキュリティが確保されていくと考えていますが、例えば、個人情報漏えいや通信障害などが起こった場合の対応については、今後、整理・確認していかなければならないと考えています。

附帯決議（概要）

議案第48号 令和4年度会津若松市一般会計補正予算（第5号）にはデジタル田園都市国家構想に関する予算が計上されており、国の交付金を積極的に活用して、当該構想の先行モデルとして、市民生活における利便性の向上や分野連携による付加価値の創出を図るものである。

予算の執行に当たっては、積算の妥当性を確認するため、市に提出される補助金交付申請書及び実績報告書を公開すること、今後の地域経済の発展のため、更なる横展開として地元企業との連携を拡充すること、ヘルスケア分野の取組について会津オンライン診療研究会との関係性を再構築し、連携を強化すること、以上3点について、十分意を用いるよう執行機関に強く求めるものである。

7月臨時会日程

7月5日(火)

招集日

本会議(提案理由説明～総括質疑～委員会付託)

予算決算委員会

予算決算委員会第1分科会

6日(水)

予算決算委員会第1分科会

8日(金)

予算決算委員会

最終本会議(委員会審査報告～表決)

デジタル田園都市国家構想推進 交付金事業に関する補正予算を可決

7月臨時会のあらまし

7月臨時会は、7月5日から8日までの4日間の会期で開かれ、令和4年度一般会計補正予算（第5号）が提出されました。この議案については、本会議での総括質疑後、予算決算委員会へ付託され、審査が行われました。最終日の本会議において、賛成多数で原案のとおり可決されました。また、附帯決議が提出され、賛成多数で可決されました。

7月臨時会に提出された予算（事業費総額8億3,020万円）の内容

【財源として国の推進交付金5億5,346万6千円を活用（補助率2/3）】



分野	サービス名（事業費）	主な内容
食・農	地産地消促進のための需給マッチングサービス（5,800万円）	農産物の生産情報と飲食店等の需要を引き合わせる。
観光	産業観光を起点とした観光DX（デジタルトランスフォーメーション）サービス（9,100万円）	視察や出張で本市を訪れる人を中心に、飲食や宿泊の情報提供、予約などを一体的に提供する。
決済	地域課題解決型デジタル地域通貨サービス（9,850万円）	手数料の低減や即時現金化を可能とするキャッシュレス決済サービスを構築する。
ヘルスケア	医療情報統合によるデータベース構築と閲覧可能なデータベースを活用した遠隔医療サービス（1億2,300万円）	電子カルテ等の連携による円滑な診療環境を構築する。
防災	位置情報を活用したデジタル防災サービス（5,650万円）	位置情報による被災者の安否確認や避難誘導を行う。
行政	“書かない”行政手続きナビ（7,620万円）	本人の同意に基づき、市が持つ住所や氏名などの情報を自動で申請書に記載する。

上記以外に ・データ連携基盤改修及び全体プロジェクト管理経費 3億700万円

・スマートシティへの市民理解を促進するための制度構築や運用等に要する経費 2千万円

令和4年7月臨時会の議決結果

会派名 議員名 議案等名	議決結果	賛成・反対	市民クラブ					フォーラム会津					創風あいづ				みらい			社民フォ			共産	公明党	社	夢	
			高橋義人	小倉孝太郎	清川雅史	戸川稔朗	石田典男	内海基	長郷潤一郎	古川雄一	中島好路	渡部 認	吉田恵三	村澤智	横山淳	目黒章三郎	小畑匠	後藤守江	大竹俊哉	高梨浩	丸山さよ子	松崎新	原田俊広	斎藤基雄	奥脇康夫	大山享子	譲矢隆
議案第48号 令和4年度会津若松市一般会計補正予算（第5号）	原案可決	23:2	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
決議案第2号 議案第48号令和4年度会津若松市一般会計補正予算（第5号）に対する附帯決議	原案可決	23:2	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○

※ ○は賛成 ●は反対 討は討論がなされた案件

※ 議長（清川雅史）は採決に加わらない

※ 会派名の略称は次のとおり みらい⇒みらいの会 社民フォ⇒社民フォーラム 共産⇒日本共産党会津若松市議団 社⇒社会民主党・市民連合 夢⇒夢クラブ

討論

議案第48号 令和4年度一般会計補正予算（第5号）

原田 俊広 議員

反対

本案については、デジタル田園都市国家構想に関する予算が計上されているが、複数分野データ連携の促進による共助型スマートシティ推進事業において、サービスを利用する市民の個人情報連携されることとなるが、事業推進に当たり、その市民の個人情報をしっかり守る体制的な保障や責任が明確になっていないことなどから、本案に反対する。

議会を傍聴して

6月13日（月）の市議会定例会（一般質問）を傍聴された会津北嶺高等学校のお二人に感想を伺いました！

議会を傍聴する前は、議員の質問に対して市から具体的な解決策や提案などが出されると思っていましたが、実際はそうでは無く、特に経済支援関係は難しい問題でした。

保育施設の入所調整については、「令和5年にはAⅠ入所調整システムを導入する」と答えがあり、これで少しでも職員の業務負担が減ればいいなと思いました。



会津北嶺高等学校 3年
山本 宙音さん

議会を傍聴するのは初めてでしたが、これを機に市政に対する関心が深まりました。今後は、選挙の際に私たちの代表として市長や市議会議員をしっかりと選びたいという気持ちになりました。

個人的には、鶴ヶ城公園やテニスコート周辺の設備について、市はもう少しちゃんと考えてほしいと思いました。



会津北嶺高等学校 3年
佐々木 彩花さん

9月定例会議のお知らせ

- 9月
- 1日（木）開会日（提案理由説明）
 - 5日（月）本会議（一般質問）
 - 6日（火）本会議（一般質問）
 - 7日（水）本会議（一般質問）
 - 8日（木）本会議（総括質疑）
 - 9日（金）総務委員会・産業経済委員会
予算決算委員会第1・第3分科会
 - 12日（月）文教厚生委員会・建設委員会
予算決算委員会第2・第4分科会
 - 13日（火）総務委員会・産業経済委員会
予算決算委員会第1・第3分科会
 - 14日（水）文教厚生委員会・建設委員会
予算決算委員会第2・第4分科会
 - 15日（木）総務委員会・産業経済委員会
予算決算委員会第1・第3分科会
 - 16日（金）文教厚生委員会・建設委員会
予算決算委員会第2・第4分科会
 - 21日（水）予算決算委員会
 - 26日（月）最終日（委員会審査報告（表決））
- ※ なお、日程は変更になる場合があります。

編集後記

6月定例会では、新型コロナウイルス感染症対策の備品購入、物価高騰に対する消費喚起および給付事業等について審議されました。ウィズコロナの市民生活向上へ向けて模索していきます。

奥脇 康夫

エフエム会津（番組名・市役所情報スタジオ）で議会の情報発信をしています。次回の放送は、8月30日を予定しています。

点字版広報議会や声の広報議会も発行しています。ご希望の方は議会事務局までお知らせください。

広報広聴委員会

委員長 村澤 智
副委員長 高橋 義人
委員 小畑 匠
奥脇 康夫
内海 基
小倉孝太郎
原田 俊広
丸山さよ子